



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

廿日市市公共交通協議会

生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要

廿日市市の概要

- ・平成15年3月に佐伯町、吉和村が合併、平成17年11月に大野町、宮島町が合併(旧1市3町1村が合併)
- ・人口 114,173人(令和2年国勢調査)
- ・面積 489.49平方キロメートル(令和2年国勢調査)

協議会の構成員

廿日市市、利用者・住民代表、広島県、中国運輸局、学識経験者(広島工業大学)、広島電鉄(株)バス事業本部、(社)広島県タクシー協会、私鉄中国地方労働組合、廿日市警察署、鉄道事業者、港湾管理者、道路管理者、広島市、大竹市

概 要

廿日市市は平成15年と平成17年の2度の合併により、南は瀬戸内海に浮かぶ宮島から北は中国山地に位置する吉和までを市域とする広域な市となった。急速な少子高齢化の進展や人口減少、マイカー利用を前提とした生活スタイルの定着等により、公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持存続が困難な状況が発生している。一方で、中山間部、島しょ部では高齢化が進み、マイカーを自由に利用できない高齢者、通学者等を中心に、公共交通の必要性は高まりつつある。このうち、中山間部における持続可能な移動手段を確保・維持する取組として、地域内の主要施設や幹線路線バスとの交通結節点までを区域運行によりカバーするデマンド型乗合交通「佐伯デマンドバス(佐伯地域)」「吉和デマンドバス(吉和地域)」を「地域内フィーダー系統」として平成23年12月より運行。また、民間路線から市自主運行路線に転換し、運行の効率化とともに、均一運賃を導入した「佐伯さくらバス玖島線(佐伯地域)」「吉和さくらバス(吉和地域)」を「地域内フィーダー系統」として平成31年1月より運行している。

協議会の主な取り組み

- ・効果的、効率的で持続可能な運行に向けた自主運行バス等の再編
- ・さくらまつりブース出展による公共交通利用意識啓発
- ・「廿日市市地域公共交通網形成計画」の策定協議(平成28年3月策定済み)
- ・「廿日市市バス路線等再編方針」の策定協議(平成29年3月策定済み)
- ・「廿日市市地域公共交通再編実施計画」の策定協議(平成30年10月策定済み)
- ・「廿日市市地域公共交通計画」の策定協議(令和5年7月策定済み)

協議会における検討

- 協議会の開催状況 令和4年10月～令和5年9月 計8回開催
- ・第3回(11月16日書面) 次期地域公共交通計画の素案について 外
 - ・第4回(12月9日) 令和4年度市自主運行バス等の各路線収支状況等について 外
 - ・第5回(1月27日書面) 廿日市市地域公共交通計画の対象期間の変更について 外
 - ・第6回(3月27日書面) 特定非営利活動法人ほっと吉和の自家用有償旅客運送の更新登録申請に伴う協議について
 - ・第1回(5月15日) 廿日市市地域公共交通計画(素案)について 外
 - ・第2回(6月29日書面) 地域内フィーダー系統確保維持計画「令和6～8年度」について
 - ・第3回(7月28日) 廿日市市地域公共交通計画について 外
 - ・第4回(9月1日) 広電バス阿品台団地線の運行計画について 外

定量的な目標・効果

区域デマンド型

＜目標：年間のべ利用者数＞

玖島・友和線1,700 所山線369人 浅原線1,349人 飯山・中道線365人 吉和線1,056人

＜目標値の設定方法＞

各路線の年間のべ利用者数(目標値)＝佐伯地域：各路線の過去3年間の平均値

吉和地域：過去3年間の平均値＋5%

＜効果＞

利便性の向上(日常生活行動に合致したダイヤの設定、幹線路線バスとの乗り継ぎ改善、既存の交通空白地域や個別施設への乗り入れ等)による高齢者等を中心とした住民の外出機会の増加

昨年度の自己評価に 対するフォローアップ

- ・経費削減や収益率向上のために、運行サービスの見直しも含めて検討を行っている。
- ・はつかいち桜まつりで、PRを行い、利用促進を図った。

実施した利用促進策

- ・住民代表等が参加する会議に参加し、デマンドバスの使い方説明やPRを行い、利用促進を図った。
- ・吉和線を引き続きNPO法人ほっと吉和が運行することにより、地域住民の意見・要望を取り入れやすい運行内容としている。

昨年度の運輸局二次評価に 対するフォローアップ

- ・廿日市市地域公共交通計画を策定する中で、各路線の利用状況について分析を行った。
- ・新型コロナウイルス感染予防として、車内の換気や消毒など、対策の徹底をアピールし、利用者の安心につなげた。

地域住民の意見の反映

- ・地域住民代表として、協議会委員に各地域から代表者1名ずつが出席。
- ・支所や運行事業者が利用者等から聴き取った意見を踏まえ、利用促進策や運行内容の改善について検討した。

定量的な目標・効果

乗合バス(定期)型

＜目標:収益率＞

(佐伯地域)申請番号3:10%、申請番号4:15%、(吉和地域)津田～吉和間自主運行バス:15%

＜目標値の設定方法＞

各系統の収益率(目標値)＝佐伯地域:再編前の類似系統の収益率を元に、対象系統ごとに目標値を設定

吉和地域:再編前に類似系統がないため、佐伯地域自主運行バス玖島線を参考として目標値を設定

＜効果＞

通学・通院・買い物での移動など、日常生活を送る上で必要不可欠な移動手段の確保。均一運賃導入による利用者の負担軽減。利便性の向上による高齢者等を中心とした住民の外出機会の増加。幹線バス路線と連携したネットワーク形成による交流人口の拡大と地域活性化。

昨年度の自己評価に 対するフォローアップ

- ・経費削減や収益率向上のために、運行サービスの見直しも含めて検討を行っている。
- ・はつかいち桜まつりで、PRを行い、利用促進を図った。

実施した利用促進策

- ・住民代表等が参加する会議に参加し、利用状況等の聴取りを行った。
- ・地域間幹線である広電バス津田線で利用促進事業を継続したほか、乗り継ぎをスムーズにできるようにダイヤ改正を行った。

昨年度の運輸局二次評価に 対するフォローアップ

- ・廿日市市地域公共交通計画を策定する中で、各路線の利用状況について分析を行った。
- ・新型コロナウイルス感染予防として、車内の換気や消毒など、対策の徹底をアピールし、利用者の安心につなげた。

地域住民の意見の反映

- ・地域住民代表として、協議会委員に各地域から代表者1名ずつが出席。
- ・地元の学校や利用者等から聴き取った意見を踏まえ、利用促進策や運行内容の改善について検討した。

事業実施の適切性

- ・佐伯地域:計画どおり実施されている。
- ・吉和地域:計画どおり実施されている。

目標・効果達成状況

<佐伯地域>

- ・区域は玖島・友和線1,264人 目標未達成(目標1,700人:達成率74.3%)、所山線112人 目標未達成(目標369人:達成率30.3%)、浅原線 1,389人 目標達成(目標1,349人:達成率102.9%)、飯山・中道線180人 目標未達成(目標365人:達成率49.3%)
- ・乗合バスは申請番号3:10.9% 目標達成(目標10%:達成率109.0%)、申請番号4:9.7% 目標未達成(目標15%:達成率64.6%)

<吉和地域>

- ・区域は1,519人 目標達成(目標1,056人:達成率143.8%)
- ・乗合バスは4.4% 目標未達成(目標15%:達成率29.3%)

事業の今後の改善点

<佐伯地域>

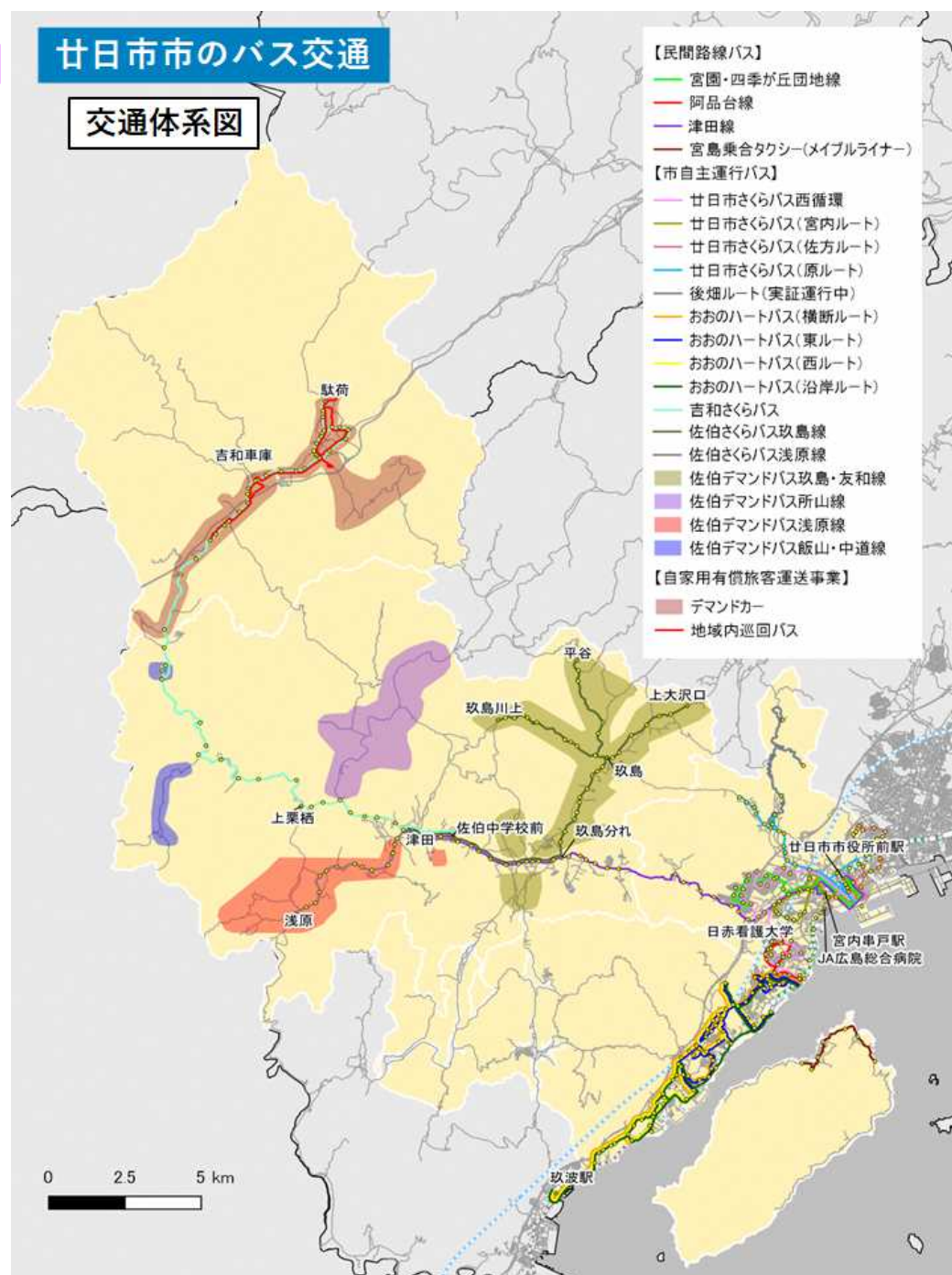
- ・区域デマンド型は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、稼働率・利用者数ともに全体的に減少傾向にあるため、効果的な利用促進策について検討が必要。運行区域の見直しを行い、乗合バスとの重複を解消する。
- ・乗合バス(定期)型は通学・通勤などの地域の移動手段として一定の効果をあげているものの、一部の系統では収益率が目標を下回っているため、効果的な利用促進策や需要について検討が必要。
- ・今後もPRの機会を増やすとともに、分かりやすいチラシを用いるなど、工夫しながら周知を図る。

<吉和地域>

- ・区域デマンド型は引き続き地域内の行事や福祉事業及び観光施設等と連携し、運行事業者との協働のもと、利用の促進を図る。
- ・地域のNPO法人に自家用有償旅客運送として移管した効果を見ながら、運行サービスを含めた見直しを検討する。
- ・乗合バス(定期)は一定の利用者数はいるものの、収益率は目標を下回っているため、自家用有償旅客運送との重複区間を解消し、改善を図る予定。

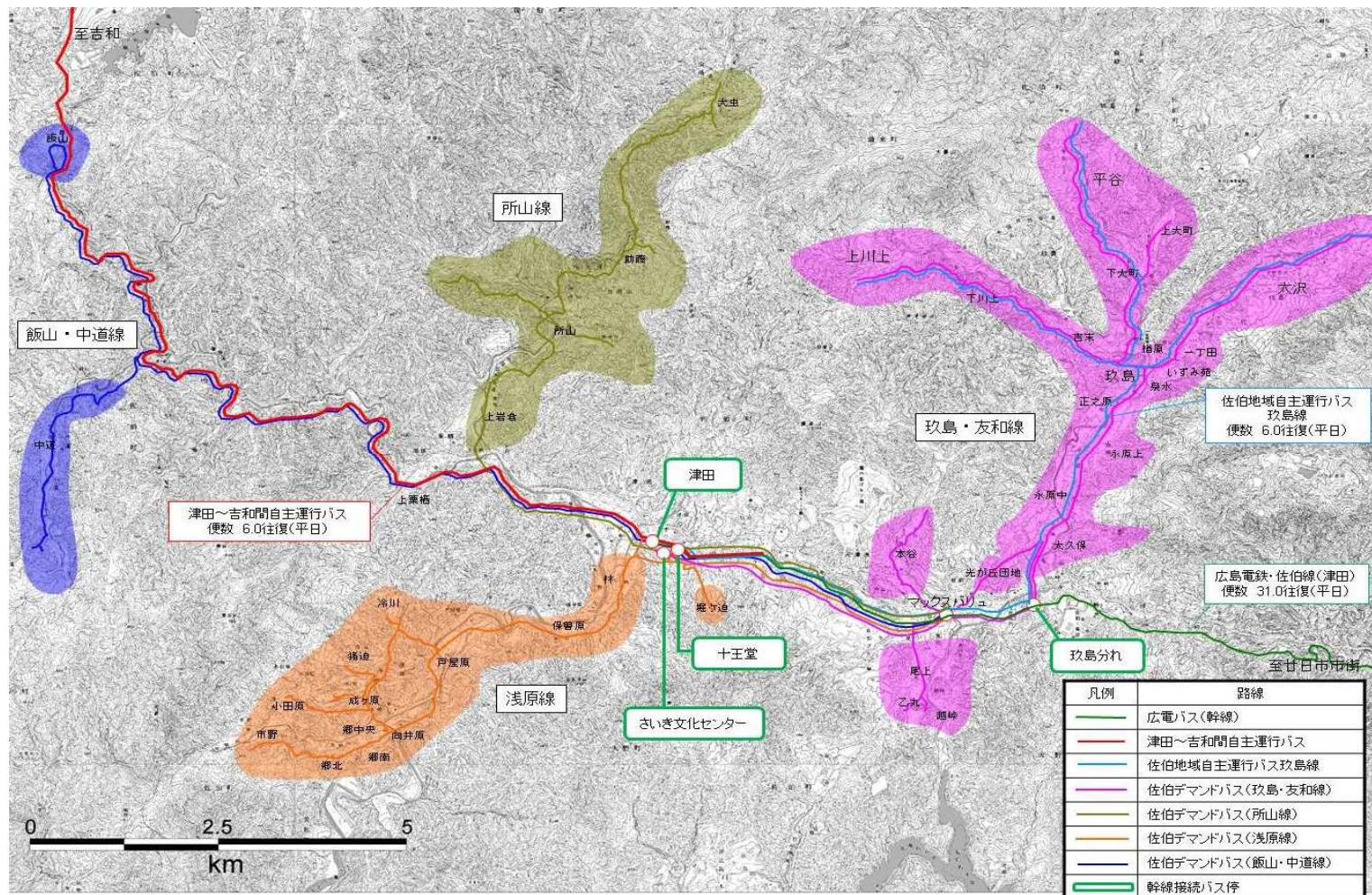
廿日市市のバス交通

交通体系図



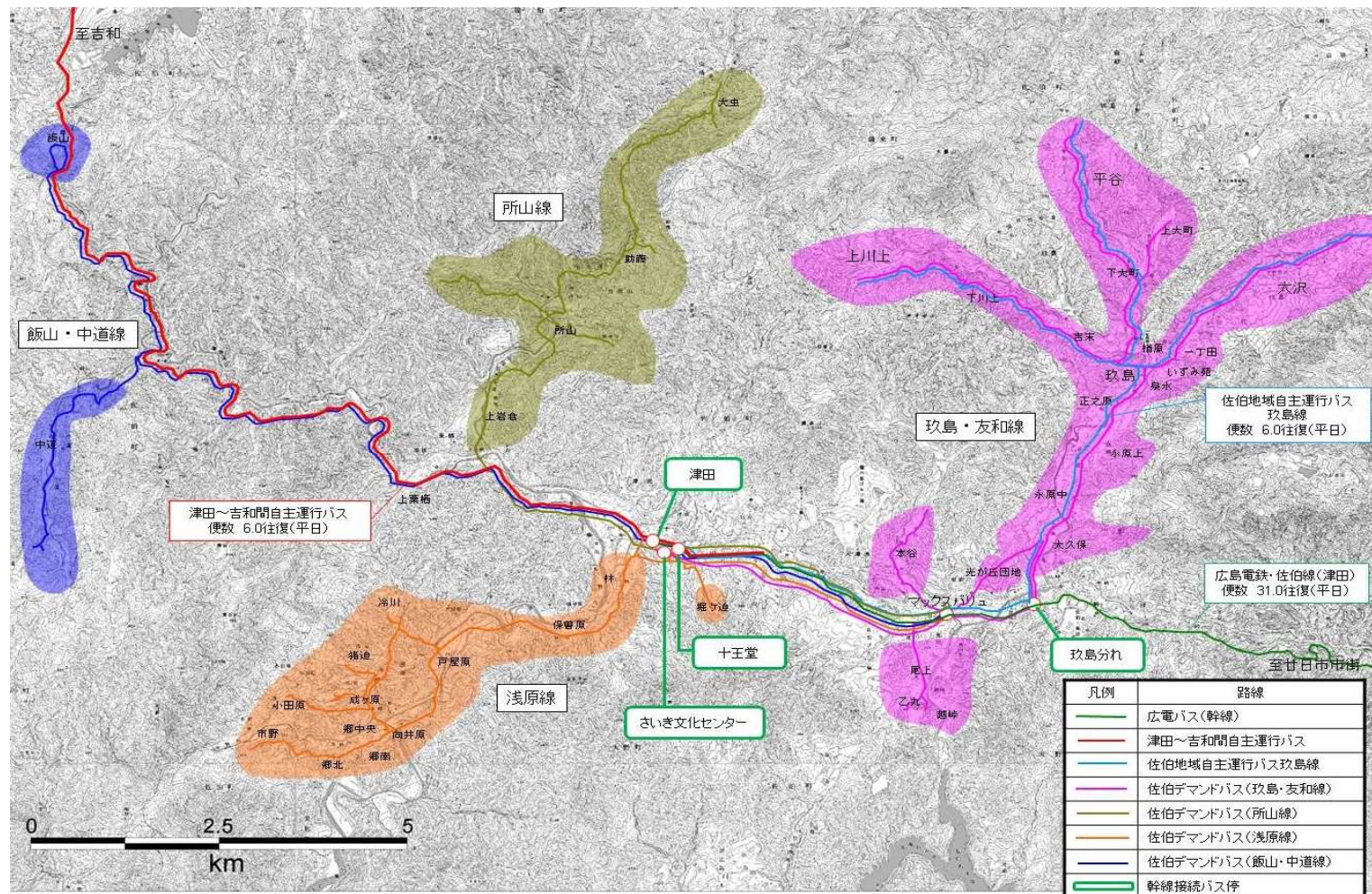
運行系統図 別紙

系統名 玖島・友和線、所山線、浅原線、飯山・中道線
 運行形態 4条路線 区域デマンド型
 運行日・便数 玖島・友和：月水金8便、所山：火木土8便、浅原：火木金土7便、飯山・中道：月水5便(いずれも祝日、12/31～1/3を除く)
 運賃 大人200円、小児100円



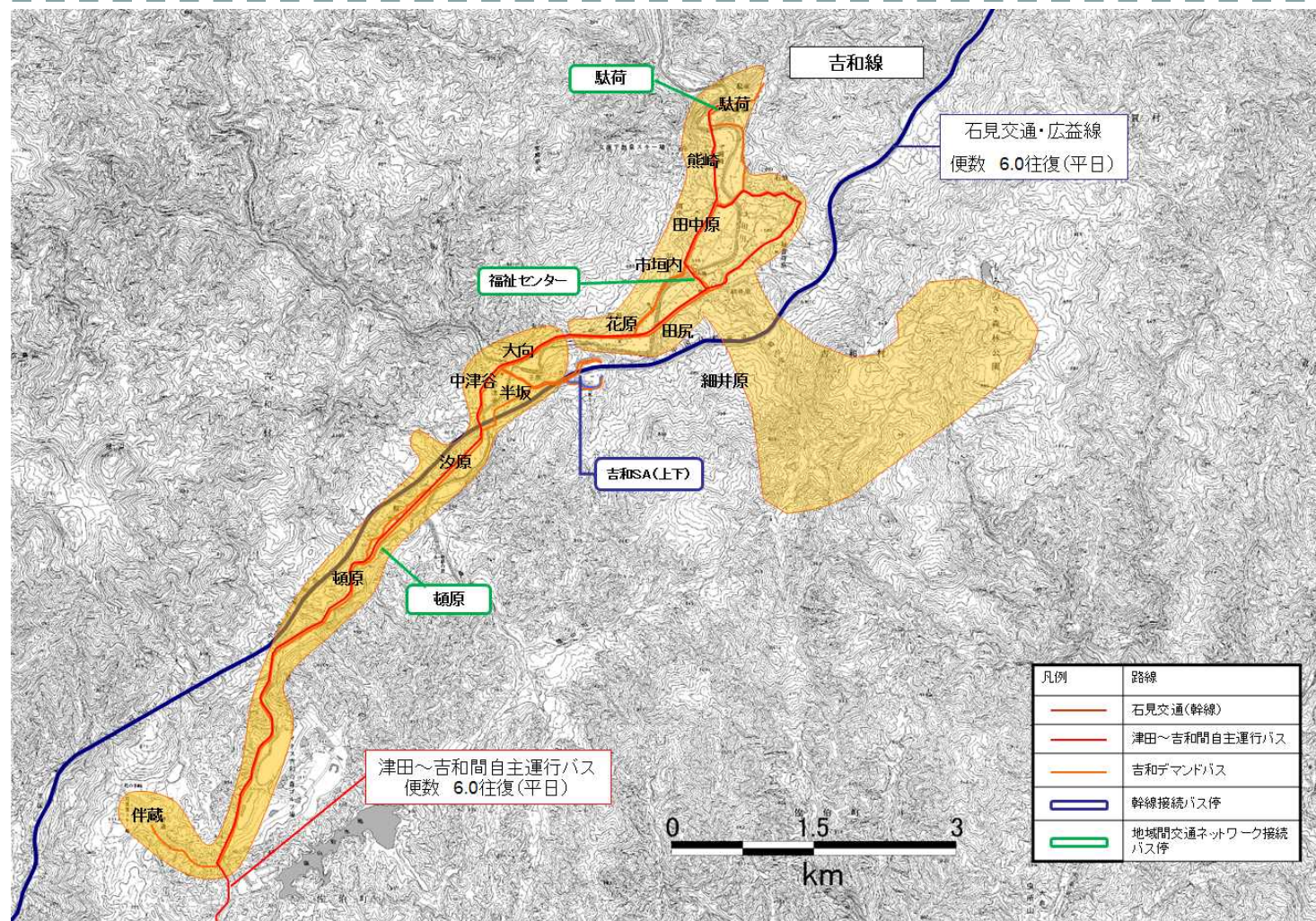
運行系統図 別紙

系統名 佐伯地域自主運行バス玖島線
 運行形態 4条路線 乗合バス(定期)型
 運行日・便数 平日(祝日を除く):6往復、土曜日(祝日を除く):5往復、日祝日:4.5往復 (12/31~1/3は運休)
 運賃 大人150円、小児100円



運行系統図 別紙

系統名 吉和線
 運行形態 4条路線 区域デマンド型
 運行日・便数 月～土曜日(祝日、12/31～1/3を除く)8便
 運賃 大人150円、小児100円



運行系統図 別紙

系統名 津田～吉和間自主運行バス
 運行形態 4条路線 乗合バス(定期)型
 運行日・便数 月～金(祝日、12/31～1/3を除く)6往復、土日祝日:5往復
 運賃 大人150円、小児100円

